

開設の目的・概要 等			
<p>パンデミック（pandemic）が発生する間隔は、年々縮小してきており、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）も、これ以上に頻出し始めている。ひとたびパンデミックが発生すると、世界中が大混乱をきたすことが今回のCOVID-19で証明された。今日のグローバル経済においては、グローバル・サプライ・チェーンの分業化が進み、効率的な経済社会を作り上げたが、一方で国際的感染症のリスクを過小評価し、安全マージンをそぎ落としてきたともいえる。</p> <p>現代は、国際感染症に対してひどく脆弱であり、近い将来に繰り返す国際的感染症リスクへ普段から備えることで、レジリエンス（抵抗性・復元性）が高い社会を新規に構築する必要がある。本講座は、パンデミックの到来に備えた建築、設備について基準を定め、研究成果を広く社会実装することを目的として設立された。</p>			
区分	番号	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文総説	1	堀賢: 感染性エアロゾルの特性と適切な換気: INFECT CONT, 2021; Supple: 34-42	
区分	番号	全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	国際共同
和文著書	1	堀賢、ICTのための新型コロナウイルス パーフェクトマニュアル：指導&研修に使える!：最新版、メディカ出版、2021	
区分	番号	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	山本ミゲイル、CO2 濃度センサーと測位システムを用いた感染確率分布と外気負荷の予測、2021年空気調和衛生工学会大会、福島、2021年9月16日	
国内学会発表	2	町田晃一、4床病室の感染リスク低減に関する研究開発～感染症の安全域と空調デザイン（第1報）、2021年空気調和衛生工学会大会、福島、2021年9月17日	
国内学会発表	3	吉野優美子、4床病室の感染リスク低減に関する研究開発～感染症の安全域と空調デザイン（第2報）、2021年空気調和衛生工学会大会、福島、2021年9月17日	
国内学会発表	4	三宅絵美香、抗ウイルス空調機の開発、2021年空気調和衛生工学会大会、福島、2021年9月17日	
国内学会発表	5	新野将平、病室におけるマイクロ飛沫の監視制御、2021年空気調和衛生工学会大会、福島、2021年9月17日	
国内学会発表	6	町田晃一、シミュレーション評価による4床病室の感染リスク低減、第50回日本医療福祉設備学会、東京、2021年11月26日	
国内学会発表	7	三宅 絵美香、抗ウイルス空調機の開発、第50回日本医療福祉設備学会、東京、2021年11月26日	

国内学会発表	8	富田賢吾、模擬咳発生装置と蛍光ラクトース粉体を用いた室内感染リスク評価、第50回日本医療福祉設備学会、東京、2021年11月26日	
区分	番号	発表者名,発表タイトル(題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	堀賢、感染管理から見た医療と設備の最新事情 COVID-19の出現がもたらした医療福祉設備の常識の転換、第50回日本医療福祉設備学会、東京、2021年11月26日	
特別講演・招待講演	2	堀賢、環境整備を斬る パンデミックに備えた建築とは、第36回 日本環境感染学会総会・学術集会、愛知、2021年9月2日	
区分	番号	発明者名,発明の名称,出願番号	国際共同
知的財産権の出願・取得等	1	町田晃一、感染リスク低減4床病室(病室シミュレーション手法)、特願2021-139805、2021年8月30日	
知的財産権の出願・取得等	2	中村友久、抗ウイルス空調機、特願2021-142002、2021年8月31日	